

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーを識り、
奉仕を実践し友情を深めよう」



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム

2560地区ガバナー 田中 政春

高田ロータリー会長 本山 秀樹

幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

第36回例会 ■ 4月7日(金)

No.36

会長挨拶 ● 本山 秀樹



高田公園の観桜会も始まり、桜の蕾も膨らみ去年より5日遅れで、昨日開花宣言がありました。現代では、花見といえば桜ですね。桜は日本人に古くから愛されてきた花であり、春を象徴する花です。鎌倉時代以降になると、貴族階級だけだった花見が徐々に、武士や一般階級にも広がっていききました。吉田兼好の「徒然草」に「貴族は桜を上品に楽しむが、都に上ってきた田舎者は桜の木の下でどんちゃん騒ぎをしている」という文章が残っています。さて、来週は当クラブのお花見の会です。米沢上杉ロータリークラブから8名のメンバーが参加します。

今月はロータリーでは「母子の健康」月間です。今なお世界では出産数10万人あたり210人の妊産婦が、そして出生数1,000人あたり20人の新生児が命を落としています。我が国の場合は、それぞれ10万人あたり3.8人、1,000人あたり1人の死亡率であることと比較すると、いかに多い数字かわかりいただけます。ロータリーは、世界各地で、母子の健康を改善し、妊婦・乳幼児

の死亡率を減らすための活動と研修を支援しています。少子高齢化の日本では、家庭・地域社会の健全な持続・発展は、母子の健康を抜きにしては語れず、ロータリアンとして重点的に取り組まねばならない問題だと思います。

出席報告

出席率 94.55%

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

渡邊 隆君——上越教育大学・看護大学の学長14年間終了。これも皆様のご支援の賜物、ありがとうございます。この4月より関根学園理事長と上越教育大学特別顧問をつとめます。

三井慶昭君——今度、所有する所の、本社の藤巻並びに直江津のシルクロードを売りました。

親睦委員会——4月の会員お誕生日 各お祝い・4月14日 観桜会のご案内（会場 アートホテル上越）

青少年奉仕委員会——4月9日 高田RAC春イベントのご案内

会員インフォメーション

大島 誠君——4月21～23日 第2弾高田仲町
ランチバルのご案内

高坂光一君——4月22・23日 人形浄瑠璃 山
椒太夫のご案内

幹事報告

配布物：週報No.35・ロータリーの友4月号・第
2弾高田仲町ランチバルパンフ

回覧物：ガバナー月信4月号・「いのち」のため
に緊急のお願い(土浦南 RC 稲本修一様)

会員卓話 AIとIOTが創る未来の社会



山崎 公一 君

はじめに産業革命についてです。
1760年頃から始まりました第1次
産業革命は2015年頃から現在に至
る第4次産業革命まで様々な産業が生み出されて
きました。1次の機械化から2次の大量生産、3
次の自動化、4次の自立化と様々な変遷を辿って
おります。

現在の4次産業革命ではIoT、AI、ビッグデー
タ等が中心になりネットワークとデータが創造す
る新たな価値を生み出し現実世界とサイバー空間
をインターネットで結ぶ事が必須となっております。

1. モノのインターネット (IoT)

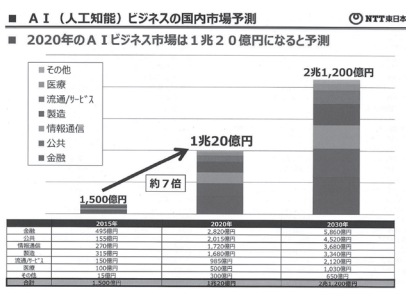
IoT (Internet of Things) とは様々な「モノ (物)
がインターネットに接続され、情報交換により相互
に制御する仕組みの事です。身近なところでは
家電がインターネットと接続され、電力使用量が
外出先でも確認できたり、外から電源のオンオフ
ができたりします。その他農業用センサーやカメ
ラ等様々なものが接続され、データ収集から分析、

動きの制御まで行ないます。ビッグデータもIoT
がベースとなっております。市場規模も当然右肩
上がりで2015年の5,200億円から2022年には3.2
兆円まで膨れ上がると言われております。

2. 人工知能 (AI)

ロボットがイメージしやすいのですが、最初は
ルールとゴールが決められている工業作業ロボッ
トが専門家の知識をコンピュータに移植し現実の
複雑な問題を人工知能に解かせるコミュニケーション
ロボットに発展し、現在は人からではなく
先程も出てきましたビッグデータをもとに知識を
得て人工知能が自動的に判断を行なうコンサル
ジュロボットです。人手不足が深刻化するなか人
工知能やロボットに任せられるものは任せる世界
が将来的にはやってきます。AIビジネス市場は
2015年の1,500億円から2020年には1兆20億円
と約7倍になると予測されております。

私達の生活にも無くてはならないものにIoT
やAIがなってくる時代もそう遠くはないと思い
ます。



■ 共通分野の事例 (3) © NTT東日本

事務ロボット (三菱電機/2018年度 商用予定)

- 手書きの文章をカメラで読み取り、AIを活用して内容を把握・テキストデータ化し、種類別に書類を分けてトレーに入れる
- 並行してAIの画像認識で各項目ごとに記入漏れや二重チェックがないかなどを確認し、不備のある書類を分けて取り出す

■ 医療分野の事例 (2) © NTT東日本

ウェアラブル生体センサ (H26.12実用化：東しとNTTの共同開発)

スポーツ支援、健康増進・睡眠管理、医療サポート

“hitoe”の展開

- Android / iOS対応
- SDK/API
- クラウド
- スマートフォン / タブレット等

hitoe 生体情報解析・機械学習

hitoe 基本ウェア © TORAY hitoe 備え © NTT